

センター便り

〒601-0715 京都府南丹市美山町下宮ノ上ミ14-1
山村留学センター「四季の里」
TEL: 0771-77-0232 FAX: 0771-77-0279
E-Mail: miyamasanryu@cans.zaq.ne.jp

冬休みの思い出と三学期の目標

亀田 十羽・・・家族で旅行へ行ったこと、ロードバイクで24km走ったこと、鬼滅の刃の映画を見たこと。
50mを7秒で走る、縄跳びで色々な技をクリアする。

花田 真穂・・・お姉ちゃんと鬼滅の刃の映画を見に行ったこと、いとこと雪だるまを作ったこと、家族で温泉に行ったこと。
残りの3カ月でみんなと楽しい思い出を作りたいです。

田仲 ゆめ・・・お父さんと鬼滅の刃の映画を見に行ったこと、お姉ちゃんの家族が家に遊びに来たこと、お家の手伝いをしたこと。
みんなと思い出をいっぱい作る、雪でいっぱい遊ぶ、出来ることはいっぱいする。

松代 萌恵・・・家族と友達と奈良のあすかへ旅行に行ったこと、光の遊園地(ひらかたパークのイルミネーション)に行ったこと、カニをお腹いっぱい食べたこと。
雪で思う存分遊ぶ、自然でしか遊べないことをたくさんする、雪の絵を描きたい。

柑本 奈穂・・・お母さんと鬼滅の刃の映画を見たこと、家族みんなで温泉に行き晩ご飯を食べたこと。
漢字・計算大会に向けて勉強を頑張る、みんなと楽しいことをする、みんなと楽しい思い出を作る。

明けましておめでとーございます
本年もよろしくお願ひします

一月六日、冬休みを家族と無事に過ごした山村留学二十三期生五名が元気にセンターに帰って来てくれました。三学期は「あつ」という間に過ぎて、センターを卒業する時が来てしまいます。子供達には残り少ない時間を、美山の大自然の中でおもいっきり楽しんでほしいです。



2学期朝マラソン優秀者等の表彰



1月7日、コロナ禍で学校も休校となり、外出も出来なくなって楽しみがなくなった4月、センターでは令和2年の一年間の台風の発生数をみんなで見積もりました。色々な意見が出る中でナオの予想した22個が実際に発生した23個に一番近かったので賞品を授与しました。



2学期の終わりにユメとナオが美山町文化協会から表彰状をもらって帰って来ました。内容は2学期の初めに提出した「俳句」の準特選の表彰状でした。ユメの句は「暑い夏 残念ながら 白い肌」ナオの句は「おいしいよ スイカいっぱい 口の中」。どちらも大変よくできた作品ですね。



1月7日、2学期朝マラソン優秀者の表彰式をしました。今回の表彰者は走った回数の多かった順にナオ・モエ・トワの3名です。今年の2学期は台風や悪天候の影響も少なく、みんな頑張って走ることが出来たようです。今年の冬は雪が多い予想ですが、3学期も寒さに負けずに元氣いっぱい走ってほしいです。

待望の雪遊び

1月7日、3学期の始業式を終えて帰って来た子供たち、寮母さんに作ってもらったお昼ご飯のオムライスを平らげると、「雪遊びしてきていいですか？」と少し興奮気味。センターの周りに昨年末から新年にかけて降り積もった雪がまだたくさん残っているのを確認して、はやる気持ちを抑えるのに大変な様子。明日の学校の用意が出来た者から上下スキーウェアに着替えてセンターの裏に飛び出して行きました。センターの裏庭は日陰になっているのでまだまだ柔らかい雪が結構残っていて、子供たちは雪玉を作って投げ合ったり、雪だるまを作ったり、雪の上に大の字に寝転んだりして「待望の雪遊び」を雪まみれになりながら楽しんでいました。



寒波到来



1月9日、朝の気温は -8°C に。センター周辺の雪もカチカチに凍り、連日の氷点下に数日前から伸び始めた軒先のツララの長さも1mを超えました。さすがに子供たちも外遊びは自粛？して、室内で何をして遊ぼうかと考えました。まずは「百人一首」と張り切って始めたのですが、ちょっとむずかしいので「ことわざかるた」に変更です。それにもあきると次はボードゲームを始めるなど、遊び心が尽きることはありませんでした。

寒中散歩



1月10日、今日も外の気温は -6°C です。軒先のツララも日に日に成長しています。久しぶりに太陽が顔を出したので知見方面に散歩に行きました。太陽が出てるとは言え、やはり屋外は寒いです。道中の雪は全てカチカチに凍っていて雪玉を作ることも出来ない状態です。そして水が湧き出ている山肌には氷の芸術がいっぱい見られました。子供たちは雪のかたまりを蹴飛ばしたり、長く伸びたツララをへし折って遊んだりしながら外の景色を楽しみました。

とんど焼き

1月11日、地域で行われた「とんど焼き」に山留生たちも参加してもらいました。今年は雪のなかった昨年とは打って変わって寒さのきびしい雪の中での行事となりました。「とんど焼き」とは竹やわらをやぐらに組んでお正月に使った門松・しめ縄・お札などを燃やし、お正月に迎えた神様をお送りして家内安全などを祈る祭事です。また、とんど焼きで焼いたおもちを食べて一年の無病息災を願ったりもします。その他にも書き初めを投げ入れ、空高く舞い上がるほど字が上達するとも言われています。子どもたちの書いた書初めを火にかざしてもらおうと驚くほどのスピードで天高く舞い上がりました。最後はお待ちかねのおもちです。とんどの残り火でおもちを焼いてもらい、砂糖醤油をたっぷりつけてもらって「パクリ」と、何度もお代わりをしていました。お昼には寮母さんに作ってもらった「ほうとう」を食べて心も身体もポッカポカになりました。



お母さんの一言

あけましておめでとうございます。新しい年を迎えたにもかかわらず、コロナの影響で自粛生活、都会の親戚とも会えず寂しいお正月でした。センターの子供達も実家に帰っても、どこにも行けず毎日退屈な事であっただろうと思いますが、おかげで元気に皆人を揃って3学期頑張っています。今が我慢の時、この自粛がどうか良い結果を招いてくれますようにと願います。